

夢つむぐ島 一島人みんなで織り上げる未来



「働く」世代のために▶連携する産業振興

連携する産業振興体制づくり

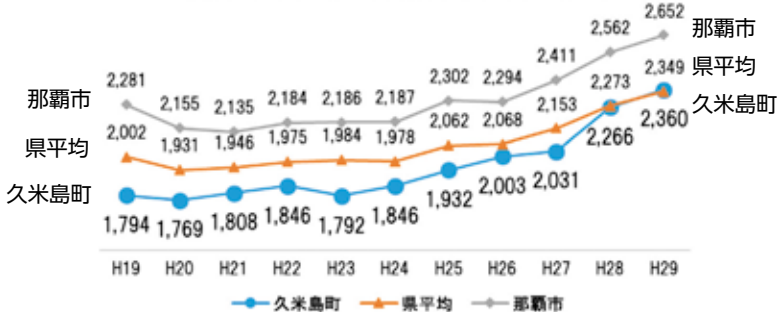


後期基本計画の策定が完了しました。今後5年間に取り組むことについてシリーズ化し、町民の皆様へ広報誌を通じて毎月発信してまいります。今回のテーマは、「働く」世代のために～連携する産業振興体制づくり～についてお伝えします。

現状と課題

- ・久米島町は農業や漁業、観光業など様々な分野の産業が成長・発展し、近年では海洋深層水の活用や複合利用による産業展開が行われています。
- ・JAおきなわ久米島支店、久米島漁業協同組合、久米島町観光協会、久米島商工会、久米島袖事業協同組合からなる久米島町の経済5団体は、久米島町の産業活性化をけん引し、町民所得向上に寄与しています。
- ・島を代表する経済5団体が横断的に連携しながら、人材確保や技術向上に努め、久米島町のしごとの魅力及び経済の発展に繋げていく必要があります。
- ・令和2年6月に久米島版DMO推進協議会が設立されました。
- ・久米島町を含む県内離島は、人口の減少が加速しており、働く場所と機会を島内に確保することが重要な課題となっています。
- ・就業環境の向上に取り組むとともに、島内企業就業者の島外からの確保に向けて、Uターン、Iターンを継続的に呼びかけ、定住・移住に繋げていく必要があります。

一人当たりの市町村民所得（単位：千円）



平成29年度の久米島町の一人当たりの市町村民所得は2,360千円となっております。沖縄県平均を若干上回り、県内では23番目となっております。過去10年間をしてみると、H20年度以降増加傾向にあります。

施策の展開

- ・産業間の人材交流やワークショップなど横断的な連携を図り、魅力のある島づくりやしごとづくりを推進します。
- ・人材や技術、経験と知識など、島の強みと課題を共有し、久米島町での働き方、産業のあり方を検討し、産業振興・発展に繋がります。
- ・産業間の連携を図り、6次産業化に取り組みます。
- ・久米島町経済5団体と久米島版DMO推進協議会が一体となり地域の「稼ぐ力」を引き出す取り組みを推進します。
- ・島内企業就業者を確保するため、島ぐらしコンシェルジュと共に体制づくりを推進します。
- ・ワーキングホリデーや様々な体験を通して久米島への移住を促進します。

目指そう指標

一人当たり町民所得

基準値(平成29年度) 2,360千円
 目標値(令和7年) **2,600千円**

町内総生産(実数)

基準値(平成29年度) 239億円
 目標値(令和7年) **264億円**

久米島町 ホームページでは、これまでの取り組みをまとめています。右のQRコードか、「久米島町 総合計画」で検索し、ぜひご覧ください▶▶▶

久米島町総合計画

検索

